

近世人物誌

やまと新聞附録

近衛家の老女村岡
 近衛家の老女村岡は慷慨の婦人
 かり夙に朝威の振えざるを嘆きて
 恢復の志あり安政五年幕府
 勅許を俟たずして外國と條約を
 結びより近衛左府鷹司右府
 一條内府三條前内府二條並相
 て内勅を水戸黄門へ賜るの擧げ
 村岡まご其事小興つて力あり
 一との偶に將軍若死す雁馬司
 家の士小林民部水戸の臣安嶋帯刀
 と謀り一橋形部卿を幕府に入れ以て
 攘夷の擧を實行せん謀る事露は
 る時の大老井伊直弼其臣長野主膳
 を京都に遣はし朝紳及び在京の儒
 生等十數人を捕へ江戸小盤送す
 村岡まご其中不在り世小おを安
 政戊午の獄と言ふ斯く村岡は目
 糾問を受たまごも更不屈する色
 かく滔々幕政の失を陳と幕吏
 の心を寒かめりしかや女丈夫
 と云ふべし



發行所 東京 京橋區 本町二丁目一番地 やまと新聞社
 電話 東京 隅田橋 三三三



近世人物誌・やまと新聞 333号付録 文庫10-8617
 早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

